

はざま医院かわら版

平成 12 年 5 月 8 日

おかげ様で 5 周年を迎えることができました。ありがとうございます

すべては皆様のお喜びのために

おかげ様で平成 12 年 5 月 8 日を持ちまして、はざま医院がこの地に新規移転し 5 周年を迎えることができました。多くの医療機関の中からはざま医院をお選び頂きお越しいただく皆様に対し、心から感謝申し上げます。

より質の高い医学的知識に支えられた医療を行うために、日々の勉強を欠かさないことは当然ですが、医療を通して皆様にお喜び頂くために、今後も総合的に努力を惜しまず、更なる努力を職員一同続けてまいります。ここに御礼と今後に向けての抱負を申し上げます。



はざま医院の歩み

はざま医院の第一歩は昭和 29 年に私の父がはざま歯科の隣地に旧はざま医院を開設したことにあります。それから 45 年、内科小児科医院として地域の皆様のためにご奉仕させて頂いて参りましたが、平成 8 年 5 月、15 年間の勤務医生活に終止符を打った私が、現在の地に新規移転いたしまして、新はざま医院がスタートいたしました。平成 8 年 12 月からは薬剤部門を院内から院外に切り替え、専門薬剤師による調剤と待ち時間の短縮、薬剤の専門家による服薬指導を図りました。平成 9 年からは定期的在宅訪問診療を開始、平成 10 年から管理栄養士による栄養相談も開始いたしました。現在毎月第 3 木曜日午前中に行っております。ご希望の方は受付までお申し出下さい。生活習慣病や肥満に悩まれる方には是非お勧めいたします。私共にも徐々に日常診療への対応の余裕が生まれ、この度職員一同一致協力し診療時間を延長し、皆様はざま医院にお掛かり頂く時間的余裕への配慮をさせて頂きました。朝一番の込み合う時間帯の待ち時間対策に、午前診開始を早め 8 時 45 分開始いたしました。一方お勤めをお持ちの皆様のために午後診を延長し 7 時まで、金

曜日は 7 時 30 分までいたしました。どうかご利用ください。

今後ともはざま医院をお選び頂き、また皆様方のお声をお聞かせ頂きますようお願い申し上げます。玄関右の電話コーナー片隅に「患者さまからのご意見箱」をもうけました。頂きましたご意見には必ずお返事を申し上げますので、どうかお声をお聞かせ頂きますよう何卒お願い申し上げます。

名古屋市立大学病院の糖尿病イブニング カンファレンスで研究発表を行う

去る 4 月 27 日(木)、夕刻 7 時から 1 時間余りにわたって副院長 伊藤伸介は「糖尿病の診断と治療におけるヘモグロビン A1c 検査の有用性」について、講師として研究発表をして参りました。ヘモグロビン A1c は過去 1-2 ヶ月間の血糖の平均値を現し、糖尿病合併症との関連が詳しく研究されており、検査値として大変有用です。また直前の食事の影響を受けないという特徴があります。検査の方法も来院時に少量の血液を採血するだけですから、患者さまのご負担も極めて軽微です。糖尿病の診断に応用した場合には、一回の検査で 7%以上(日本糖尿病学会の診断基準では 6.5%)であれば糖尿病と診断して、薬物療法などを考慮すべきであると思われます。また一旦糖尿病と診断を受け治療を開始された方では、合併症への進展を防ぐためにできるだけ 7%以下、特に 65 歳以下の方では 6.5%以下を、66 歳以上の方では 7%前後を目指されるべきであろうと思われます。このようなことを研究による根拠を示しながら、糖尿病診療に当たっておられる専門医師、看護婦、栄養士を対象とした研究会で講演を行い、討論をしてまいりました。

5 月 8 日からの新しい診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:45-12:00							/
午後 16:30-19:00				/		/	/

金曜日午後 19:30 まで